

平成 30 年度

# 保健所の取り組み実績

<部の構成>

保健企画課、保健衛生課、保健予防課、保健センター

## 1. 重点施策・事業

### (1) 若年層への薬物乱用防止啓発の強化

方向性	<p>若年層への薬物汚染が急速に広がり大きな社会問題となっており、青少年による薬物乱用の根絶及び規範意識の向上は重点課題となっています。</p> <p>そこで、小学生・中学生を対象に薬物乱用防止教室に取り組む各団体と情報交換・情報共有を行い、連携・協力体制の強化を図りつつ、特に青少年・若年層に対して違法な薬物の危険性について正しい知識の普及をめざして啓発活動を行います。</p>
取り組み	<p>薬物乱用防止街頭キャンペーンを実施します。また、本市オリジナルの啓発リーフレットを作成し、市内の全小学6年生に配付するとともに、薬物乱用の危険性をわかりやすく解説した児童向け書籍を市内の全小学校へ寄贈し、活用を図ります。配付の際には、専門知識を有する講師を派遣し、リーフレット及び書籍の解説を行うとともに、アンケートを実施します。</p> <p>《目標値》</p> <p>薬物乱用防止キャンペーンでの啓発資材の配付数：1,500個(平成29年度1,500個)</p> <p>平成30年度当初予算：1,107千円(うち746千円を「こども夢基金」より充当)</p>
実績	<p>市内全小学校46校(私立含)を訪問し、薬物乱用防止啓発児童向け書籍(よくわかる薬物依存)を寄贈するとともに、本市オリジナルの啓発用リーフレットを制作し市内全小学6年生約3,800人に配付し、薬物乱用防止教室等での活用を促しました。市内全小学校46校で実施された薬物乱用防止教室のうち、9校について保健所が専門知識を有する外部講師を派遣しました。外部講師が教室を行った小学校(学校独自で依頼した講師含む)のうち、協力が得られた15校の6年生約1,200人に対し教室の前後で効果測定のためにアンケートを実施したところ、危険な薬物に対する意識の向上が見られました。街頭キャンペーンは11月6日に実施し、約1,500人にリーフレット及び啓発物品を配布しました。</p> <p>《実績値》</p> <p>薬物乱用防止キャンペーンでの啓発資材の配付数：1,500個</p> <p>平成30年度決算：947千円(うち368千円を「こども夢基金」より充当)</p>
取り組みに対する達成状況	

【 ◎ 】

<b>(2) 働く世代の健康づくり支援</b>	
<b>方向性</b>	生活習慣病予防やメンタルヘルス対策を行うには、生涯を通じた健康管理を支援する必要があります。生活習慣病やメンタルヘルスの不調は、働き盛りの年代に端を発していることが多く、健康で長く働き続けるためには事業所が健康づくりに取り組むことが重要です。従業員への健康投資を行うことは、企業の業績向上やイメージアップにつながると期待されており、事業所が従業員に対して行う健康づくり活動を保健所が支援することで、働く世代の健康に対する意識の向上を図ります。
<b>取り組み</b>	「ひらかた健康優良企業」に登録された事業所に対して、健康づくりの取り組みを事業所とともに検討し、健康に関する情報提供や健康教育の実施などの支援を行います。また、市ホームページに掲載するなど、健康づくりを通じて事業所のイメージアップを図ります。 <<目標値>> ひらかた健康優良企業への健康教育実施回数：20回（平成29年度16回） 平成30年度当初予算：94千円
<b>実績</b>	「ひらかた健康優良企業」に対して、健康教育を13回実施しました。健康に関する情報提供として「保健所つうしん<企業版>」を4回配信するとともに市ホームページに掲載しました（たばこ・朝食・がん・インフルエンザ）。その他、定期健康診断及び特定健診診査等の場を利用した働く世代への健康づくりの支援として、保健師、管理栄養士、歯科衛生士による啓発を26回実施しました。 <<実績値>> ひらかた健康優良企業への健康教育実施回数：13回 平成30年度決算：78千円
<b>取り組みに対する達成状況</b> 【 ○ 】	

<b>(3) 食中毒など健康危機事象発生 of 未然防止</b>	
<b>方向性</b>	安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や理美容所などの生活衛生施設における衛生水準の向上を図り、健康危機事象発生 of 未然防止をめざします。
<b>取り組み</b>	平成30年度に改正旅館業法が施行され、また、食品衛生法の改正が見込まれる中、HACCP（ハサップ）による食品衛生管理の手法等、新たな衛生基準を普及・啓発し、食中毒などの健康危機事象発生 of 未然防止に努めます。 <<目標値>> 生活衛生に係る健康危機事象発生件数：0件（平成29年度3件） 平成30年度当初予算：14,261千円
<b>実績</b>	食品等事業者に対して講習会、窓口にてHACCPに沿った衛生管理の手法について周知し、導入を推進しました。また、HACCPに関する講習会等に参加して習得した専門知識や指導手法を課内で共有し、職員の育成を行いました。関係条例の改正や新

	<p>基準の啓発・指導手法については、府域自治体で組織するワーキンググループに参加し、検討を進めています。</p> <p>《実績値》</p> <p>生活衛生に係る健康危機事象発生件数：1件</p> <p>平成30年度決算：10,281千円</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ○ 】</b>

<b>(4) 動物愛護精神の啓発及び生活環境の保全</b>	
<b>方向性</b>	人と動物が共生する社会を実現する取り組みとして、犬猫の殺処分ゼロをめざすために、猫不妊手術補助金交付件数の増加、終生飼養・適正飼養などの飼い主責任の周知啓発のさらなる推進を図ります。
<b>取り組み</b>	<p>枚方市動物愛護基金を活用し、現在600件としている猫不妊手術補助金交付件数の増加、動物愛護啓発事業の拡充、動物の管理の質の向上に取り組み、動物愛護の精神及び動物の適正な飼養の啓発及び生活環境の保全を図ります。</p> <p>《目標値》</p> <p>増加後の猫不妊手術補助金交付件数：900件(平成29年度実績600件)</p> <p>平成30年度当初予算12,987千円</p>
<b>実績</b>	<p>猫不妊手術補助金については枚方市動物愛護基金を活用して交付件数を増加し、900件の交付を行いました。</p> <p>終生飼養・適正飼養などの飼い主責任を周知啓発するために、愛犬お悩み相談会、犬・猫のしつけ方教室、動物愛護パネル展及びマナー袋の配布等を行い、動物愛護の精神及び動物の適正な飼養の啓発並びに生活環境の保全を図りました。</p> <p>《実績値》</p> <p>増加後の猫不妊手術補助金交付件数：900件</p> <p>平成30年度決算：11,728千円</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ○ 】</b>

<b>(5) 自殺予防対策の推進</b>	
<b>方向性</b>	誰もが「生きることの包括的な支援」として必要な支援を受けられるよう、保健、医療、福祉、教育、労働その他の関連施策との有機的な連携を図ることで、自殺対策を総合的に推進します。
<b>取り組み</b>	<p>広く市民に自殺予防について啓発するために、「ゲートキーパー養成講座」の開催や相談窓口の周知を行うとともに、庁内外の関係機関とネットワーク会議を開催し、有機的な連携を図ります。また、自殺対策を総合的に推進するため、自殺対策計画を策定します。策定にあたり、自殺対策計画審議会での調査審議を行うとともに、</p>

	<p>「自殺対策に関する市民意識調査」をはじめ、関係団体等から広く聴取します。</p> <p>≪目標値≫</p> <p>ゲートキーパー養成講座受講人数：130人（平成29年度実績115人）</p> <p>平成30年度当初予算：6,824千円</p>
実績	<p>市民への啓発のため、9月の自殺予防週間と3月の自殺対策強化月間には枚方市駅、樟葉駅周辺にて啓発物品の配布やゲートキーパー養成講座を開催しました。また、自殺予防対策関係機関実務者会議を開催し、情報の共有を図るとともに、自殺対策計画についての検討を行いました。</p> <p>自殺対策計画の策定については、庁内関係課にて構成する健康推進本部自殺対策部会を設置し、検討を行うとともに、外部の学識経験者等から構成される自殺対策計画審議会にて調査審議を行いました。審議会は6月、8月、11月（2回）に計4回開催し、7月には「自殺対策に関する市民意識調査」を実施しました。</p> <p>11月には審議会から計画の答申を受け、平成31年3月に「枚方市のちを支える行動計画（自殺対策計画）」を策定しました。</p> <p>≪実績値≫</p> <p>ゲートキーパー養成講座受講人数：126人</p> <p>平成30年度決算：5,186千円</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
<b>【 ◎ 】</b>	

(6) 妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない支援の更なる推進	
方向性	<p>安心して楽しく子育てできる環境の充実のひとつとして、子育ての不安感や孤立感を取り除き、喜びを感じながら子育てができるよう、妊娠、出産から子育て期にわたる切れ目のない支援をさらに推進します。</p>
取り組み	<p>妊娠・出産から子育て期、成人・高齢期まで切れ目なく、健康や子育てに関する相談・支援を実施する場として、北部支所内に開設した「すこやか健康相談室」について、地域での活動の充実を図るとともに、他地域への設置を検討します。また、これまで保護者の自己負担で受診していた「新生児聴覚検査」の費用助成を行い、保護者の経済的負担を軽減することで、受診率の向上をめざし、聴覚障害の早期発見・早期療育を図ります。</p> <p>≪目標値≫</p> <p>新生児聴覚検査 受診率：100%</p> <p>すこやか健康相談室での年間相談・支援件数：2,400人（平成29年12月～平成30年3月実績755人）</p> <p>平成30年度当初予算：1,036千円（市民の健康を支える地域拠点運営経費） 7,043千円（新生児聴覚検査事業費）</p>

実績	<p>地域での活動の充実を図るため、「すこやか健康相談室 北部リーフ」で、健康に関する相談を 4,139 人に行い、出前健康講座を 49 件、受講者数 1,469 人に行いました。また、他地域への設置についても検討しました。</p> <p>「新生児聴覚検査」の費用助成を、10 月 1 日以降に産まれた乳児から開始し、982 人に行いました。さらに、聴覚障害の異常が疑われた場合には、適切な医療に結びつけました。</p> <p>《実績値》</p> <p>新生児聴覚検査 助成人数 982 人（初年度につき、償還払いの未申請者がいるため、平成 30 年度は受診率の算定はしていない。）</p> <p>すこやか健康相談室での年間相談・支援件数：4,139 人</p>
	平成 30 年度決算：4,595 千円（新生児聴覚検査事業費）
	<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ○ 】</p>

（7）がん対策の推進	
方向性	<p>がんに関する知識の普及啓発に努めるとともに、がんを早期発見し、適切な治療に結びつけられるよう、各種がん検診について受診率向上や精度管理に努めます。</p>
取り組み	<p>肝がん対策の一環として、対象者に肝炎ウイルス検診の無料クーポン券を送付します。また、乳がんの自己チェック方法について記載された「お風呂で乳がんチェック」シートを配布するなど、がんに関する知識の周知啓発を図るとともに、引き続き無料クーポン券の送付や効果的な受診勧奨を行い、各種がん検診の受診率の向上を図ります。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎ウイルス検診受診者数 4,000 人（平成 29 年度 335 人）</li> <li>・受診率 大腸がん検診 40%（平成 29 年度 7.7%）</li> <li style="padding-left: 2em;">乳がん検診 50%（平成 29 年度 14.2%）</li> <li style="padding-left: 2em;">子宮頸がん検診 50%（平成 29 年度 16.3%）</li> </ul> <p>平成 30 年度当初予算：458,967 千円</p>
実績	<p>肝がん対策の一環として、対象者に肝炎ウイルス検診の無料クーポン券を平成 30 年 6 月末に約 4 万人に送付し、6,415 人がクーポン券を利用しました。また、乳がんの自己チェック方法について記載された「お風呂で乳がんチェック」シートを約 4,700 人に配布するなど、がんに関する知識の周知啓発を図りました。さらに、6 月にがん検診無料クーポン券を約 5 万 500 人に送付し、9 月に子宮頸がんの効果的な受診勧奨を行うなど、各種がん検診の受診率向上にむけた取り組みを行いました。</p> <p>《実績値》</p> <p>肝炎ウイルス検診受診者数 6,878 人</p> <p>受診率 大腸がん検診 7.7%（32.4%）</p>

	乳がん検診 13.7% (30.4%) 子宮頸がん検診 16.9% (28.2%) 各種がん検診受診率 ( ) 内の数値は平成 30 年度枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果「この一年間でがん検診を受けた人」の割合)
	平成 30 年度決算：441,707 千円
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ○ 】</b>

## 2. 行政改革・業務改善

### ◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
相談業務の検証	「ひらかた健康ほっとライン 24」の設置に伴い、所内で実施している既存の各種相談業務について、相談件数の推移などを踏まえ、運営方法等の検証を行います。
<b>実績</b>	「ひらかた健康ほっとライン 24」が 24 時間年中無休、通話料無料で利用ができ、子育てに関する相談も含めた多様な相談に医師、保健師、看護師等の専門職が対応していることから、平成 31 年 3 月末をもって保健センターの子育てに関する相談専用電話「子育てコール」を終了し、「ひらかた健康ほっとライン 24」での対応に移行しました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ◎ 】</b>

## 3. 予算編成・執行

- ◆薬物乱用防止啓発事業について、枚方市こども夢基金（74 万 6,000 円）を活用し、若年層に向けた取り組みの強化を図ります。

<b>実績</b>	薬物乱用防止啓発事業として「枚方市こども夢基金」を活用し、児童向け啓発書籍（よくわかる薬物依存）を市内全小学校へ寄贈しました。また、本市オリジナルの啓発用リーフレットを制作し市内全小学 6 年生約 3,800 人に配付し、小学校及び外部講師に対し薬物乱用防止教室等での活用を促しました。以下、いずれも当基金より充当。 よくわかる薬物依存 46 冊：149,040 円 本市オリジナル啓発用リーフレットデザイン委託料：172,800 円 リーフレット印刷代：45,600 円
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<b>【 ◎ 】</b>

- ◆感染症予防対策、難病対策、がん検診の推進などの取り組みについて、感染症予防事業等国庫負担（補助）金を活用し、効果的な事業の運営を図ります。

実績	感染症予防事業等国庫負担（補助）金として、新生児を先天性風しん症候群から守るための風しん予防対策事業に風しん抗体検査事業費補助金 195 万 6,000 円、がん検診推進事業にがん検診推進事業費補助金 318 万 7,000 円、退職保健師が育成トレーナーとなる新人保健師の指導育成事業に地域保健従事者現任教育推進事業補助金 65 万 6,000 円をそれぞれ活用し、効果的に事業を推進しました。また、難病患者地域支援対策推進事業補助金 1,176,000 円を活用し、効果的に在宅療養支援事業等を推進しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

#### 4. 組織運営・人材育成

- ◆より質の高い地域保健サービスが求められる中、保健師の専門能力の向上を目的に、保健師人材育成ガイドラインに基づき、保健師の組織的・計画的な人材育成の体制を構築します。

実績	平成 27 年に市で作成した「保健師人材育成ガイドライン」に基づき、庁内保健師連絡会を定期開催する等により、組織横断的な保健師間連携の推進を図りました。保健師の専門能力向上のため、職場外研修に計画的に参加できるよう組織内の調整を行い、研修参加者による業務改善の取組がすすめられています。人材育成関係課会議を開催し、保健師の人材育成に関する方向性を確認しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

#### 5. 広報・情報発信

- ◆FM ひらかたを通して市民の暮らしや健康に役立つさまざまな情報を発信するとともに、放送内容を市ホームページに掲載することで市民に広く周知を行います。

実績	毎週木曜日午後 2 時に FM ひらかたを通して情報発信を行うとともに、放送内容を「ほけんしょ通信」と題して市ホームページに掲載しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	